



養田 博美さん
群馬県伊香保温泉
如心の里ひびき野

代の書物にすでに温泉が湧き出ていると記されております。

日本初の温泉リゾート都市計画です。その石段はしばしば大火事に見舞われてきました。原因は榛名山の中腹にあるため、下から上に風が吹き上がり、火災が起るとす

乗り越えていかなければなりません。昔、徳富蘆花や竹久夢二、与謝野晶子など多くの歌人や芸術家がこの地を愛し、この地で作品を生み出してきたように、今年注目されたワーケーションなど新しい旅の形を確立しニューノーマルな伊香保温泉を皆で作って

「主でありたい」という理念のもと、つねにお客様の目線に立ち、どうすればお喜びいただけるかを追求しております。このコロナ禍において、伊香保温泉でも毎年恒例の数々のイベントが中止となり、日々GOTOトラベルの動向に翻弄されておりますが、お客様視線を忘れず、コロナからの復興を目指してまいります。

ニューノーマルな温泉地に

京都府の十四春旅館の玉垣多佳子様よりバトンをいただいた、群馬県伊香保温泉如心の里ひびき野の養田博美と申します。

伊香保温泉は第115代垂仁天皇の時代に

発見された説と、草津温泉と同じように行基によって見つけられたという説があります。

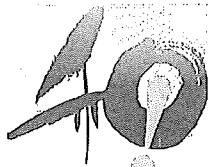
どちらにしても南北時

から約430年前、武田勝頼と織田信長の戦い「長篠の合戦」のころ、武田軍が兵士の傷を癒すために、山を切り開き、湯元から温泉を引き、石段を作り、中央に湯桶を伏せ左右に調整、区画された屋敷に湯を分けるという

ぐに広まるということ です。さらに慢性的に水不足だったため、消火ができなかったようです。その数度の大火にもかかわらず、先人は幾度も伊香保温泉を復興してきました。

今、私たちは新型コロナウイルス感染症を

それでは、このバトンを三重県鳥羽市の鳥羽ビューホテル花真珠の迫間優子様にお渡します。



をもつてJKK

全旅通・女性経営者の会

リレーコラム

Vol.136